

# モルドバ月報

2022年2月〔モルドバの報道をもとに作成〕

令和4年3月1日 在モルドバ大使館

## 【主な出来事】

- 22日、サンドゥ大統領及びポペスク外相が、ロシアによる東部分離派地域の独立承認に対する非難声明を発表した。
- 24日、サンドゥ大統領及びポペスク外相が、ロシアによるウクライナ侵攻への非難声明を発表した。
- 24日、ウクライナ情勢を受けて、緊急事態宣言が発出された。
- 24日、ウクライナ情勢を受けて、3月4日までの領空閉鎖が発表された。

## 1. 内政

- **ウクライナ情勢を受けて、緊急事態宣言の発出（24日）**
- **ウクライナ情勢を受けて、3月4日までの領空閉鎖（24日）**
- **ウクライナ情勢を受けて、国内のテロレベルが1段階引き上げ（24日）**
- **ウクライナからの避難民受け入れ施設の開所（24日）**

## トランスニストリア関連

- **セレブリアン副首相のトランスニストリア訪問**  
18日、トランスニストリアを訪問したセレブリアン副首相は、トランスニストリア紛争解決プロセスの Ignatiev 同地域代表と O S C E ティラスポル事務所面で面会し、紛争解決に向けた各種対話を再開することで一致した。
- **セレブリアン副首相とトランスニストリア代表との面会**  
28日、セレブリアン副首相は、トランスニストリア紛争解決プロセスの Ignatiev 同地域代表と O S C E キシノウ事務所面で面会し、ウクライナからの避難民受け入れで協力することで一致した。セレブリアン副首相は、今般のウクライナ情勢に関し、ティラスポルによるモルドバ国民の緊張を高める行為を避けるよう要請した。

## コロナ関連

- **23日現在の国内感染者累計49.8万人**  
23日時点の国内における新型コロナウイルス感染者数は累計497,946人。死者は11,157人。

## 2. 外政

- **クロアチア外相の当地訪問**  
1日、ポペスク外務・欧州統合相は、当地を訪問したグルリッチ＝ラドマン・クロアチア外相と会談し、クロアチアのモルドバの EU 加盟に対する支援に対する謝意を表明し、モルドバの EU 加盟に向けた両国政府間委員会が近々開催され、経済協力に向けた両国政府間委員会が設立されることを発表した他、モルドバの「三海域イニシアティブ」への参加意思を表明した。地域の安全保障及びトランスニストリア問題について議論された他、両国外交アカデミー間の協力に関する覚書に署名が行われた。
- **オランダ首相の当地訪問**  
2日、サンドゥ大統領は、当地訪問中のルッテ首相と会談し、モルドバの改革、EU 加盟、地域の安全保障、開発援助について述べた他、オランダの企業家たちがモルドバに来るよう促した。
- **サンドゥ大統領と駐モルドバ露大使の会談**  
3日、サンドゥ大統領は、ヴァスネツォフ駐モルドバ露大使と会談し、経済・エネルギー問題、在露モルドバ人の社会保障に関する交渉の進展を評価した他、ドニエストル川左岸のコバスナ基地に保管されている弾薬の破棄に向けた対話を進めたいと述べ、地域情勢の平和的な解決への希望を表明した。
- **ポペスク外務・欧州統合相のハンガリー訪問**

- (1) 4日、先方の招待でハンガリーを訪問したポベスク外務・欧州統合相は、シーヤールト・ハンガリー外相と会談した。
- (2) ポベスク外務・欧州統合相は、シエムイェーン・ハンガリー副首相と会談し、地域の安全保障、「三海域イニシアティブ」の可能性等について議論し、農業、食料産業、デジタル化、エネルギー分野での二国間協力を深化させることで一致した。
- **スプヌ・インフラ・地域開発相のアゼルバイジャン訪問**  
4 - 5日、南ガス回廊諮問委員会への出席のためバクを訪れたスプヌ・インフラ・地域開発相は、Shahbazov アゼルバイジャン・エネルギー相と会談し、エネルギー分野でのアゼルバイジャンとの協力の可能性について述べた。
- **駐モルドバ新米大使の着任**  
7日、Logsdon 駐モルドバ米大使が当地に着任した。
- **ポベスク外務・欧州統合相のアゼルバイジャン訪問**  
アゼルバイジャンを訪問したポベスク外務・欧州統合相は、8日にバイラムフ・アゼルバイジャン外相と、10日にはアリエフ・アゼルバイジャン大統領と会談し、それぞれの会談では貿易、エネルギー、投資、農業分野での二国間対話の強化について協議された。
- **ルーマニア政府との政府間合同会議の開催**  
11日、キシナウにて、モルドバ政府とルーマニア政府の合同会議が行われ、二国間協力に係る13の協定への署名が行われた。
- **ルデンコ露外務省副大臣の当地訪問及びそれに関する外務省声明**  
(1) 15日、当地を訪問したルデンコ露外務省副大臣は、ガブリリツァ首相、セレブリアン副首相（再統一担当）、ポベスク外務・欧州統合相とそれぞれ面会し、5 + 2 会議開催の可能性も含むトランスニストリア問題等につき議論した。また、クラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」とも面会し、トランスニストリア紛争解決プロセス及び在モルドバ露大使館によって提供される同地域での移動式領事サービスについて議論した。  
(2) 16日、モルドバ外務・欧州統合省は、ルデンコ露外務省副大臣がクラスノセルスキ・トランスニストリア「大統領」との面会後に行った記者会見の発言内容につき、「モルドバ当局の合意無く移動式領事サービスの向上を意図するものであり、モルドバの領土一体性を尊重するというロシア当局の立場にも反する」という趣旨の非難声明を発表した。
- **トランスニストリア議会議員一行の訪露**  
15 - 17日、Korshunov トランスニストリア議会議長率いる一行は訪露し、ロシア議会議員、Mulhametshin 元駐モルドバ大使等を含む、20の面会を行った。
- **サンドウ大統領のミュンヘン安全保障会議出席**  
18 - 19日、サンドウ大統領はミュンヘン安全保障会議に出席し、スピーチを行った。また、ショルツ独連邦首相、ペトコフ・ブルガリア首相、ジョアナ NATO 事務次長等と面会した。
- **ポベスク外務・欧州統合相とカナダ外相との電話会談**  
18日、ポベスク外務・欧州統合相は、ジョリー・カナダ外相と電話会談を行い、両国間対話の強化及び東欧の安全保障環境の変化等について議論した。ポベスク外相は在カナダ・モルドバ人コミュニティがモルドバの改革のアドバンテージであると述べた他、両側からディアスポラの利益になる社会保障に関する両国間合意への署名への関心が表明された。
- **ポベスク外務・欧州統合相とイスラエル外相との電話会談**  
19日、ポベスク外務・欧州統合相は、ラピード・イスラエル外相と電話会談を行い、両国の外交関係樹立30周年の文脈で政治対話及び経済外交の強化への関心を表明した。ホロコースト関連を始めとしてこれまでの協力関係について話が及んだ他、地域情勢について議論し、モルドバは平和的解決を望む旨述べた。
- **ポベスク外務・欧州統合相のウクライナ情勢に関する声明の発表**  
20日、ポベスク外務・欧州統合相は、ウクライナ情勢に対する懸念を表明し、平和的解決を求める声明を発表した。
- **サンドウ大統領及びポベスク外相によるロシアによる東部分離派地域の独立承認に対する非難声明の発表（22日）**
- **サンドウ大統領及びポベスク外相によるロシアによるウクライナ侵攻への非難声明の発表（24日）**
- **サンドウ大統領と欧州委員会委員長との電話会談**  
24日、サンドウ大統領はフォン・デア・ライエン欧州委員会委員長と電話で会談し、モルドバ国民の安全とウクライナ避難民対応について議論した。欧州側から、今回の危機による影響に対するモルドバへの支援を保障する旨言及があった。

- ポベスク外務・欧州統合相とルーマニア外相との電話会談**

24日、ポベスク外務・欧州統合相はアウレスク・ルーマニア外相と電話会談を行い、ウクライナの主権と領土一体性を支持することで一致し、モルドバ側からはウクライナ避難民対応への支援を要請した。
- サンドゥ大統領とルーマニア大統領との電話会談**

25日、サンドゥ大統領はヨハニス・ルーマニア大統領と電話会談し、地域の複雑な安全保障環境について議論し、ウクライナ避難民への支援のために二国間で協力していくことで一致した。
- ガブリリツァ首相とリトアニア首相との電話会談**

25日、ガブリリツァ首相はシモニーテ・リトアニア首相との電話会談が行われ、その結果28日にウクライナ避難民の受け入れに対するリトアニアからモルドバへの75万ユーロの支援が表明された。
- ポベスク外相と仏外相との電話会談**

25日、ポベスク外相はル・ドリアン仏外相と電話会談を行い、ウクライナ避難民対応への仏からの支援、及びモルドバの領土一体性と主権に対する仏からの支持、及び欧州からの一般的な支援につき謝意を表明した。
- サンドゥ大統領と米国務長官との電話会談**

26日、サンドゥ大統領はプリンケン米国務長官と電話会談を行い、地域の複雑な安全保障状況及び避難民受け入れについて議論した。モルドバ側は引き続き避難民への人道支援をする用意がある旨述べ、米国側はモルドバ側の努力に謝意を述べ、モルドバの主権と領土一体性を支持する旨発言した。
- サンドゥ大統領と仏大統領との電話会談**

26日、サンドゥ大統領は、マクロン仏大統領と電話会談を行い、地域及びモルドバの安全保障状況及び避難民対応につき議論した。
- ポベスク外相とEU上級代表との電話会談**

26日、ポベスク外相はボレルEU上級代表と電話会談を行い、ウクライナの主権及び領土一体性を支持する旨表明し、避難民対応及び地域の安全保障環境について議論した。モルドバの主権と領土一体性へのEUからの支持に謝意が表明された。
- サンドゥ大統領と加首相との電話会談**

27日、サンドゥ大統領はトルドー加首相と電話会談を行い、ウクライナ情勢とモルドバに流入するウクライナ避難民の状況につき議論した。カナダ側からは、モルドバの諸改革を支持する旨、表明があった。
- サンドゥ大統領と西首相との電話会談**

27日、サンドゥ大統領はサンチェス西首相と電話会談を行い、地域及びモルドバの安全保障状況について議論した。スペイン側から、ウクライナ避難民受け入れに関するモルドバの努力に謝意が表明された。
- サンドゥ大統領と蘭大統領との電話会談**

27日、サンドゥ大統領はルッテ蘭大統領と電話会談し、地域情勢、避難民対応への協力等につき議論した。また、モルドバの欧州統合への蘭側の支援に謝意を表明した。
- ポベスク外相と蘭外相の電話会談**

27日、ポベスク外相はフックストラ蘭外相と電話会談し、地域の安全保障、避難民の流入につき議論した。欧州市民保護メカニズムを通じた34.8万ユーロの蘭からモルドバへの支援、及び蘭によるモルドバの領土一体性及び主権への支持に謝意を表明した。
- ポベスク外相と印外相との電話会談**

27日、ポベスク外相はジャイシャンカル印外相と電話会談し、在ウクライナのインド人学生のモルドバとルーマニアを経由したインドへの帰国ミッションの成功と二国間協力の必要性について議論した。モルドバは、ウクライナからモルドバに来る第三国避難民の本国への早急な輸送に努力するとし、そのために本国の協力が必要、とポベスク外相が述べた。
- サンドゥ大統領とスロベニア大統領との電話会談**

28日、サンドゥ大統領はパホル・スロベニア大統領と電話会談し、地域情勢及びモルドバの欧州統合について議論した。スロベニア側からはウクライナ難民受け入れへのモルドバ当局の協力的なアクションを歓迎した。
- サンドゥ大統領と駐モルドバ新米大統領との面会**

28日、サンドゥ大統領は、Logsdon 駐モルドバ新米大統領と面会し、地域情勢及びそのモルドバへの影響につき議論した。
- ガブリリツァ首相とルーマニア首相との電話会談**

28日、ガブリリツァ首相はチウカ・ルーマニア首相と電話で会談し、地域情勢、ウクライナ避難民の流れ、両国間の避難民対応の協力について議論した。

## 中国関係

### • スプヌ・インフラ相と中国大使の面会

10日、スプヌ・インフラ相は、中国大使と面会し、中国政府の財政支援で立てられた太陽光発電所の建設終了合意書に署名した。

### • グロス議会議長と中国大使の面会

14日、グロス議会議長は、Wenbin 中国大使と面会し、経済、教育、テクノロジー、北京冬季オリンピックについて議論した。また、同議長は、モルドバのエネルギーソース多様化のイニシアティブを歓迎する旨、発言した。

### • ポプショイ議会議長と中国大使の面会

15日、ポプショイ議会議長（日・モルドバ友好議連会長）は、Wenbin 中国大使と面会し、中国からの技術支援に謝意を表明し、経済関係強化、投資誘致等の可能性について議論した。

## 3. 経済

### • 自由経済区、2024年までに再編成の見込み

3日、ガイブ経済相は、2024年までに自由経済区（Free Economic Zones）の再編及びEUとの深化した包括的自由貿易協定と連合協定におけるコミットメントに近付ける意向を示した。同相は自由経済区閉鎖の憶測を否定した。自由経済区と投資庁を統合し、新たな機能や専門家、管理を伴い、投資家を一元的に管理する新たな構造に最適化する意向を述べた。

### • 2021年ワイン輸出統計

4日、国家ワイン・ぶどう局は、2021年のワイン輸出が過去10年で最高の29.9億レイ（1.6億ドル、対前年比9.9%増）と発表した。ボトルでの輸出は17.7億レイ（0.96億ドル、対前年比17.6%増）、国別輸出量はロシア16.2%、ルーマニア15.7%、ポーランド11.4%、チェコ11.3%、中国6.2%等。

### • 運送業者、ストライキ

7日、都市間運送業者が9日までの3日間、料金値上げを求めてストライキを始めた。運送業者は、地方自治体の事前許可がある場合にのみ値上げが可能というインフラ・地域発展省の施策に反対している。同省は、多くの運送業者は事業を継続しており、市民から不満はあがっていないと述べた。

### • 1月の年間インフレ率16.56%

10日、国家統計局は、今年1月時点の年間インフレ率が16.56%を記録した旨を発表した。内訳は、食品21.05%増、非食品及びサービス13.37%増が含まれる。対先月比の平均消費者物価は2.77%上昇した。

### • 2022年1月の予算執行状況

11日、財務省は2022年1月の歳入が36億レイ（1.9億ドル）、対前年同期比12.5%増と発表した。歳出は45億レイ（2.4億ドル）、前年同期比15.4%増。財政赤字は9億レイ（49百万ドル）。

### • 年間インフレ率、2022年第3四半期20.6%との予測

15日、国立銀行は、2022年のインフレ率に関する第一次報告書を発表した。年間インフレ率は2022年第1四半期に17.7%まで急上昇し、同年第2同期は20.5%、同年第3同期は20.6%と上昇を続けた後、同年第4同期は16.5%との予測。

### • 国立銀行、基本金利再度引き上げ

15日、国立銀行は、基本金利を10.5%（現行より2%増）にすることを決定した。

### • 2021年の小売・卸売統計

16日、国家統計局は、2021年の小売（自動車及び自動二輪を除く）が前年比12.5%増と発表した。卸売（自動車及び自動二輪を除く）は24.5%増。人へのサービスは71.3%増。企業に提供されるサービス28.1%増。自動車及び自動二輪の売上高は44%増。

### • 2021年の貿易統計

17日、国家統計局は2021年の輸出総額が31.4億ドル、対前年比27.5%増と報告した。内訳は対EU61%、対CIS14.8%。輸入総額は、71.8億ドル、対前年比32.5%増。内訳はEUから43.9%、CISから26.6%。貿易赤字は対前年比36.7%増の40.2億ドル。

対日輸出は320万ドル、対前年比43.5%増、日本からの輸入は6,740万ドル、前年比19.5%増。

- **2021年工業生産統計**

18日、国家統計局は、2021年の工業生産が前年比12.1%増と発表した。電気・温水・ガス・空調等が16.1%増、鉱業11.4%増、加工業11.4%増等。

- **合同危機管理センターの始動**

27日、緊急事態委員会はウクライナ難民の支援を調整する合同危機管理センターの設立を決定した。一時滞在センターに滞在するウクライナ難民向けに、食料や医療支援、領事支援等の短期・中期の必需品の提供を目標とする。また、同センターは外国パートナー、法人、個人からの寄付や人道支援の受入れや配布を調整する。ウルデア政府官房長官が同センターを主導する。

- **CISからヨーロッパ電力網への切替え**

28日、モルドバとウクライナの電力会社は、CIS電力網からヨーロッパの電力網ENTSO-Eへ切替るため2月24日～26日に近隣諸国の電力システムから切り離す試験を実施して成功したため、切り離した状態を維持すると発表した。

#### **4. 経済協力**

- **EU、エネルギー危機対応に5百万ユーロ支援**

4日、EUはエネルギー危機から高齢者や低所得者等の脆弱な層を支援するため、新たに5百万ユーロの資金援助を実施すると発表した。2月より40万世帯が資金援助を受け、6,000世帯が木材や石炭等を受け取る見込み。本プロジェクトは2023年4月まで実施予定。

- **中国政府、太陽光発電所を援助**

10日、スプヌ副首相兼インフラ・地域発展相とYan Wenbin 在モルドバ中国大使は太陽光発電所引き渡し協定に署名した。クリウレニ地区に、中国政府の支援による2.8MWの太陽光発電所が建てられた。同所は8ヘクタールの面積に、7,400の太陽光パネルと16のインバータがある。本事業の費用は4百万ユーロ。

- **世銀、中小企業支援50百万ドル支援見込み**

18日、経済省は、中小企業支援を目的とした世銀の新規プロジェクトの広聴を発表した。中小企業の競争力向上を支援する50百万ドルのプロジェクト。2022年4月の世銀取締役会で承認される見込み。

- **リトアニア、難民支援に75万ユーロ提供**

28日、リトアニアはモルドバにおけるウクライナ難民対応支援に75万ユーロを提供すると発表した。